

あなたの署名をお願いします。

『地元・虻川下流域住民の合意』を求める署名です！

7月25日の村リニア対策委員会では、本山の保安林解除申請の承認が為されました。豊丘村は、これを受けて行政手続きを進めています。しかし、**地元・下流域の同意を明確にすることは、今までに何も為されておられません。**

村長は「**地元・下流域住民の合意を得た後に決定する**」という原点に立ち返るべきです。

私たちは、下流域住民を含む村民の署名を集め、**村長に対して「虻川上流リニア残土計画の推進を一時止めて、地元・虻川下流域住民の声にしっかりと耳を傾け、必要な対応を行い、地元・下流域住民が同意するのかどうかをしっかりと見極めるように」訴えよう**と思います。

村議会にも、同様の署名で村長に対して議会からも働きかけをするように要請したいと思えます。

是非これらのことにご賛同いただきご署名をよろしくお願ひいたします。

代表 原 章 唐澤啓六 鹿野 寛 小澤多喜二
(問い合わせ先 Tel 35-4114)

この署名に賛同します。 城下健治 原ムツエ 池野豊茂 壬生万里子
宮下卓也 森田千冬 熊谷利子 三島志信

虻川上流の残土置き場…いまだに大きい下流域住民にとっての心配や不満

- 1 本山に130万 m^3 。さらに戸中、下っ沢に26万 m^3 。
併せて虻川上流に156万 m^3 、途方もない残土が虻川上流に置かれ怖い。
- 2 地下水上昇は残土崩壊に特に関係するが、地下排水設備などに関する説明には疑問が多い。
- 3 「1:2.3の安定勾配などで盛り土自体が安定する」などとして、JRは、残土崩壊のおそれや疑問に対して十分な回答や対応をしようとししない。
- 4 施設・設備の経年劣化は当然だが、それらが永久に使用できるような説明をしている。工事後の管理について盛り土を安全に維持できるか不明の点が多い。
- 5 万が一の残土崩壊に対応する、スリットダム建設や緊急連絡体制の構築などの意見に対しては曖昧な回答のまま。
- 6 熊本地震や西日本豪雨など、近年の大地震や豪雨災害では、実際に谷埋め盛り土がかなり崩壊し犠牲者が出ている。
- 7 そもそも虻川は、自然のままでも36災などで大きく氾濫した過去がある。
- 8 JRは、国や県の基準を十分にクリアーした設計と言うが、大量残土の山奥への谷埋め盛り土の基準は、そもそも国や県でも整備されていない。
- 9 JRは、買い取ると明言してしない。「森林の状態に戻るまでは管理をする」「30年くらいJRが管理して問題が起これなければ、村や地権者に返すことも検討する」などとして、将来的な責任を避けようとしている。
- 10 虻川上流の谷埋め残土処分構想は、もともとわずかな一部の人たちだけで考えられた。村長は「上流に置けば村民の生活への影響は少ない」としているが、それは工事期間中だけで、いったん置かれれば下流域住民は永遠に不安を抱えることになる。これらの事について今までほとんど議論されていない。

等

